

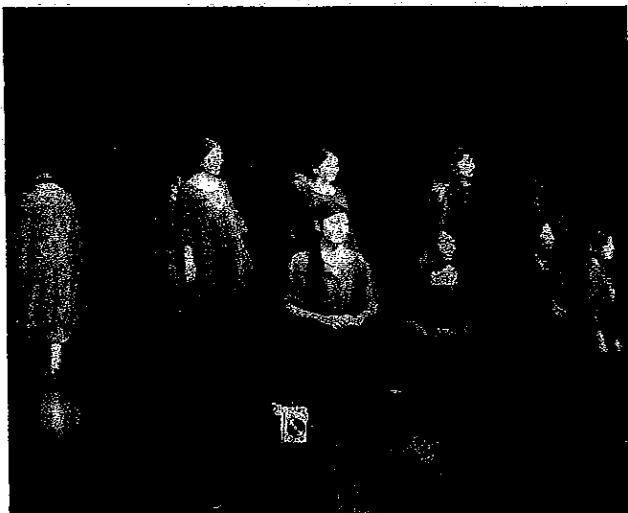
地名由来

紫草で街づくりを！

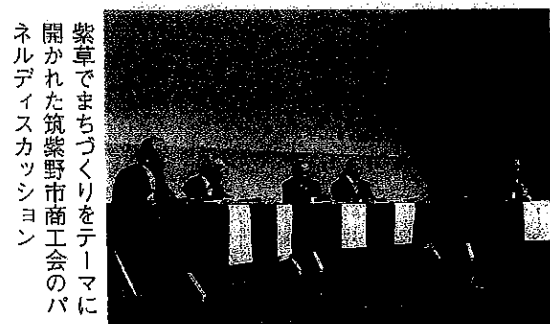
二日市温泉の活性化へ

筑紫野市
商工会 シンポも開催

筑紫野市商工会（帆足忠勝会長）は「紫で街づくり」をキーワードに二日市温泉の活性化を目指しており、今や絶滅危惧種になった紫草の復活再生に取り組んでいる。この活動を多くの人たちに知ってもらうために、9月17日に太宰府市の九州国立博物館で、「温泉と紫の街づくりシンポジウム」を開催した。



紫草で染めたニットを着てのファッションショー



シンポジウムでは、まず、「筑紫野市を語る（紫物語）」

紫草でまちづくりをテーマに開かれた筑紫野市商工会のバネルディスプレイ

の歴史」と題して県観光アドバイザーの岡部定一郎さん、「二日市温泉の今昔」と題して筑紫野市観光協会会長の久芳康紀さんがそれぞれ基調講演を行った。オリジナルニット美和（杉美和子代表）、筑紫女学園大学による紫草染め衣装のファッションショーがあり、続いて榎本健次中小企業診断協会福岡県支部長をコーディネート、岡部氏、久芳会

長、帆足会長と紫草の栽培復元に成功、紫草美術の新天地を確立されて日本古代紫草染工房主宰の石川貴啓さんをパネラーにパネルディスカッションを行った。会場内では、石川さんの紫草作品展、二日市温泉の足湯コーナー、筑紫野市物産振興会の協力による特産物販売も行われた。

紫草は筑紫野市の名産品を育てていきたい」として、筑紫野市商工会では「これから紫プロジェクトの本番。市内の道路を紫の植物でいっぱいにし、特産品を育てていきたい」として、現